

監査証跡

スタシターパツク

【監査証跡】

各コントロール機能が情報システムの信頼性、安全性、効率性、有効性の確保に結びついていることを事後に実証するための手段。

情報システムに関するさまざまな事象の発生から最終結果に至るまでの過程およびその逆方向の追跡ができる仕組み。

監査証跡とは、情報システムおよび情報システムを運用する手続きが持っている

各コントロール機能が、情報システムの健全性を確保することに有効であることを、事後に双方向で追跡し確認できる仕組みのことである。

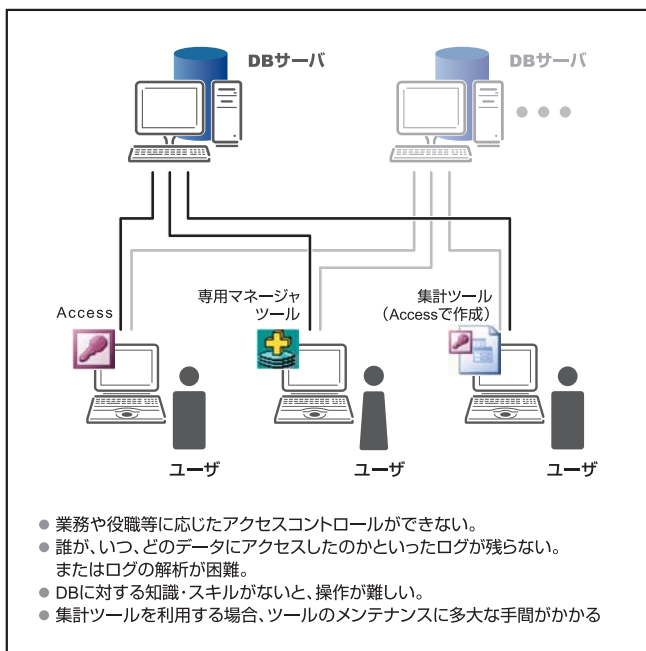
監査証跡から得られるものは時系列的な監査証拠になりうる。

会社法・金融商品取引法対策に！
短期間/低コストで実現する、監査証跡ソリューション

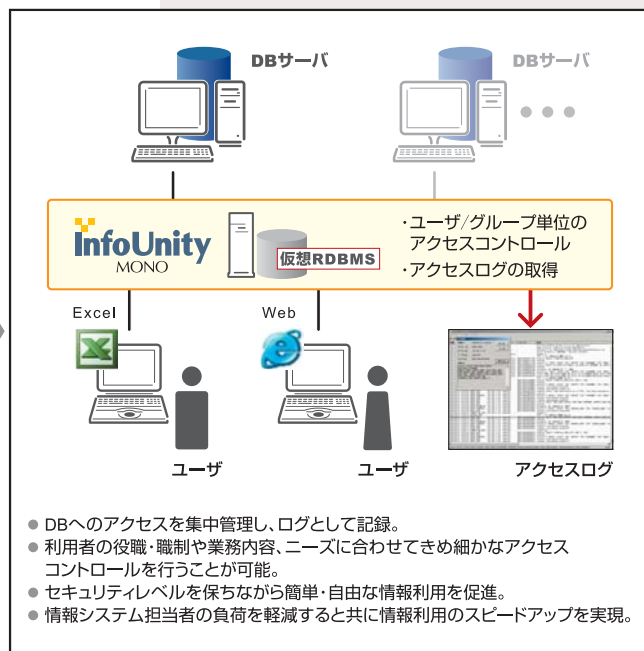
監査証跡の記録に必要なソフト/ハード、システム構築支援サービスを一括でご提供
内部統制システムの構築に最低限必要なサービスを網羅した、オールインワンパッケージ



before 導入前



after 導入後

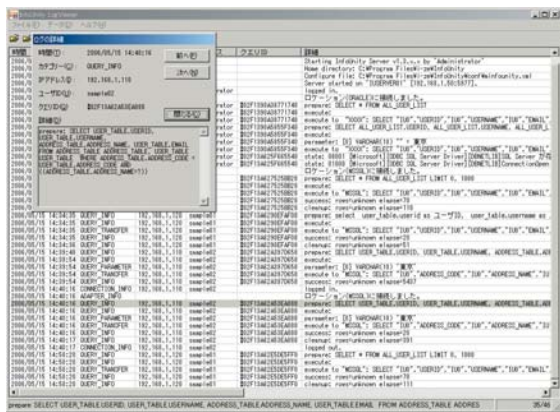


監査証跡スターターパックは、内部統制システムに欠かせない、監査証跡の記録に最低限必要なソフトウェア/ハードウェアにシステム構築支援サービスを加えて一括でご提供する、オールインワンパッケージです。

既存のシステムに導入することにより、個々のデータベースに関する専門的知識を必要とせず、一元的にアクセスログを管理することが可能となります。記録されるログはログイン/ログアウト時間、クライアントのIPアドレス、使用されたユーザID、発行されたSQL、認証エラー等、専用のログビューア画面で簡単に確認できるため、不正アクセスの予防と万一の際の迅速な対応を実現します。また利用者の役職・職制や業務内容、ニーズに合わせてきめ細かなアクセスコントロールを行うことが可能。単に監査証跡を記録するだけでなく、企業のセキュリティポリシーに合わせ、適切なセキュリティレベルを保ちながら簡単・自由な情報利用を実現します。

既存のシステムを最大限活用しながら短期間・低コストで内部統制システムの構築を行える「監査証跡スターターパック」を、是非あなたの手に。

■ InfoUnity LogViewer 画面



InfoUnity MONOはユーザからのすべてのアクセスを記録し、ログファイルとして保存する機能を備えています。

データベースごとにログを参照しなければならない場合と比べ、個々のデータベースに関する専門的知識を必要とせず、一元的にログを管理することが可能です。

【主な記録データ】

- ログイン/ログアウト時間
- クライアントのIPアドレス
- 使用されたユーザID
- 発行されたSQL (SQL文をそのまま記録)
- 認証エラー (ログイン失敗)
- その他のエラー 等

composition 構成

ソフトウェア

- InfoUnity MONO 1.3
- プロセッサライセンス × 1
- InfoUnity Viewer for Excel × 10CAL

ハードウェア

- InfoUnity用サーバー
- 冗長化電源 / 冗長化ファン、UPS付き
- バックアップ用DAT72+バックアップソフトウェア
- ログ用ストレージ (NAS)
- 保守 : 3年オンサイト (翌営業日対応)

システム構築支援

- プロフェッショナル・サービス
- 5 days セットパック

price 価格

お客様の使用環境により、システム構成が変わる場合があります。
 詳細につきましては弊社までお問い合わせください。

- 本カタログに記載の内容は、2007年6月現在のものです。なお内容は予告なく変更する場合があります。
- 本カタログに記載の各社社名、製品名、ロゴデザインは、各社の登録商標あるいは商標です。



イズ・コミュニケーションズ株式会社

www.i-ze.com

〒106-0047
 東京都港区南麻布2-12-7 南麻布TMDビル4F
 TEL: 03-5427-5977 FAX: 03-5427-5832
 E-mail: info@i-ze.com

ご購入に関するお問い合わせは